

③⑩ 身近の自然を楽しむ 真夏を謳う4種の花

Enjoy the surrounding nature: Four kinds of flowers celebrating midsummer

8/10

/2023

灼熱の夏を謳歌するように咲く花き、強い印象を残す花は何か？と問われたら何を思い浮かべますか？たぶんヒマワリ（向日葵）を挙げる人が多いのではないかと他に？と問われたら何を挙げますか？

ヒマワリは先号で採り上げたので、今号はそれに続く花を独断と偏見で4種あげる。

最初は、サルスベリ（百日紅）。その名の通り一夏3ヶ月間、100日間咲き続ける。そこで最近、街路樹として様々な色の花が植えられている。各種の色の百日紅を撮影したが、今号は芦花公園内で見た4種を紹介する。園の中央には、背丈の大きなピンクと白色の花をたくさん付けて咲いている。その逆に背丈が1m足らずの栽培種が、南門の坂道沿いに植えられている。その脇に、島百日紅（しまひやくじつこう）という沖縄産の木（素朴な白色の花）が植えられている。

真夏の第2の花は、清楚でありながら鮮やかな花で目を惹くアオイ（葵）。赤紫と白の葵が代表的。葵は、源氏物語の中で光源氏の最初の妻の名としても有名だ。なお、葵には、タチアオイ（立葵）、アメリカ原産の葵も含まれる。タチアオイは、アオイよりも早く（梅雨入りの頃）咲く。深紅の花弁を5方向に広げて咲くモミジアオイ（紅葉葵）は豪華さを感じさせる。

第3の花は、ムクゲ（木槿、学名・*Hibiscus syriacus*）。アオイ科フヨウ属の植物なので、花の形がよく似ている。＜アルバムの写真上下の花の形を比較されたい。＞
違い（見分け方）は？雄しべと葉の形が異なるので、写真を見比べられたい（ムクゲの雄しべは棒状で、葉のサイズは小さい）。

ムクゲの中心が紅色で印象的だが、俳句の世界では、ムクゲの別名を底紅（そこべに）と詠み、秋の季語となっている。

なお、ムクゲは無窮花（散っては咲きを繰り返して長く咲き続ける）とも書かれ、韓国の国歌である。昔から朝鮮列島全域に咲いていた花で、長きにわたって韓国の人々に愛されてきたという事を学んだ（https://www.arc-c.jp/translation/blog/20161117_yosshi/）

第4の花はオシロイバナ（白粉花）。花の色は白だけでなく薄紫、ピンク、黄色、紅色、絞り色と多様。どの色の花の実も砕くと白い粉（胚乳）が出る。これがお白いとして使われていた事は？ない！女の子のお化粧遊びに使われていたが…。実は、白い粉には有毒物質が含まれる。皮膚に塗るだけなら問題ないが、口にしてはならない。オモシロバナシではなくなるので要注意！